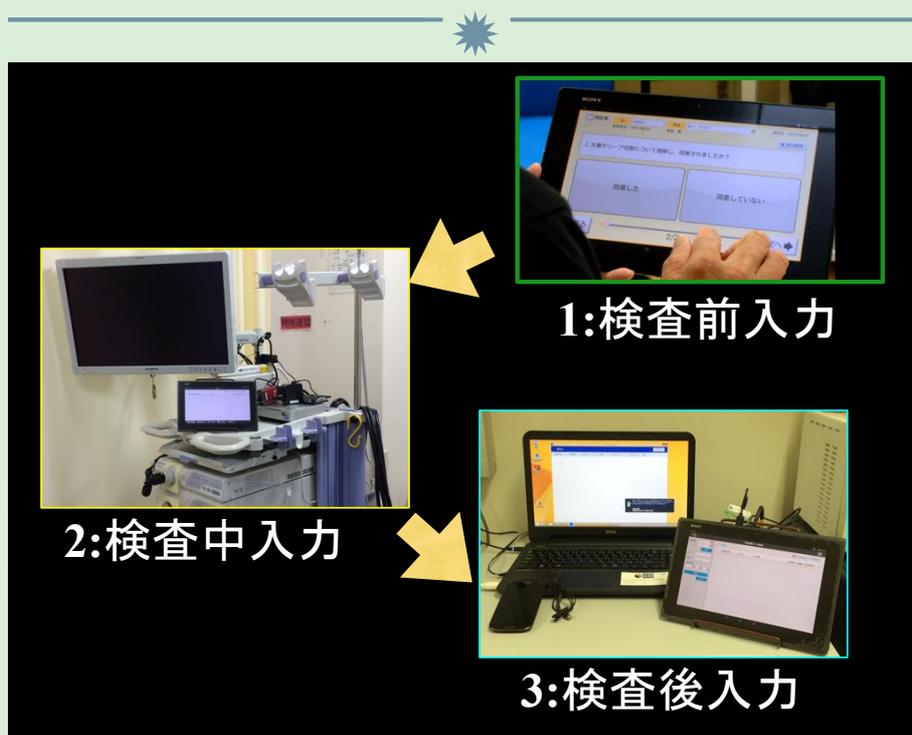


内視鏡検査・治療を受けられる患者様へ

タブレット端末を使用した消化器内視鏡データベース構築と そのデータベースの活用に関する前向き観察研究

2016年1月以降（但し2015年12月は試行期間）



患者様には検査前にタブレット入力をお願いします

タブレット端末を使用して、内視鏡データベースを保存する試みを始めました。

内視鏡検査は今や消化器癌の早期発見にはかかせないものとなっております。早期発見ができれば、内視鏡切除にて完治を目指すことができます。患者様の喫煙歴や飲酒歴、内服歴、疾患、治療歴などのデータを蓄積し、解析することで、今後の診療に役立ち、質の高い医療を提供できると考えております。

☆ 参加について

この研究は、診療記録で記載された内容を用いて行われますので、該当する患者様の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受ける事はありません。この研究に関しての不明点や、参加に同意されない場合は下記まで御連絡をお願い致します。

☆ 登録される情報の内容について

個人情報には匿名化させていただいておりますので、その保護には十分配慮いたします。得られた情報はそれ自体で患者様の個人を容易に特定することはできませんし、各種ガイドラインに則した扱いになります。学会ホームページや学術集会や論文などにより結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

☆ 登録される項目について

内視鏡検査・治療において、内視鏡検査を施行する医師が記載する結果報告書にかかれたもののなかから、抽出して登録します。

- ・ 調査する診療記録・検査記録の一覧
内視鏡周辺情報、
 - 年齢、性別、ASA Grade、抗血栓薬（使用状況ならびに中止、置換の有無などの詳細）、喫煙歴ならびに喫煙の有無、飲酒歴および飲酒状況、悪性腫瘍、家族歴、他臓器癌既往歴、ヘリコバクター・ピロリ感染状態、内視鏡検査の予定性、外来・入院、検査目的、治療目的、鎮痙剤使用状況、鎮静・鎮痛・麻薬に関する事項、内視鏡の挿入敬老、使用スコープ情報、送気の種類、特殊観察法、観察範囲、手技開始・終了時間、手技中、手技後偶発症、30日以内の死亡の有無、実施医師名、副実施医名、内視鏡看護師・技師名、腹部手術歴、生涯大腸内視鏡歴、造影範囲、挿管、胆管・膵管径、挿管難易度、胆管へのアプローチ法など
 - その他検査に必要な前処置アンケート
- ・ 内視鏡診断・治療内容
 - 病名、使用内視鏡処置具、治療内容
- ・ 検査前後 Vital sign
- ・ 事後入力情報
 - 偶発症、病理検査、転帰

検査問い合わせ先(H27.12.1現在)

京都医療センター 内視鏡室：電話番号 075-641-9161 内線 3211 内視鏡受付

連絡担当者 水本吉則 研究責任者 水本吉則